

プール及び野外活動施設等の見直しに係る方針について

平成 22 年度の「横浜市事業評価会議」及び 23 年度の「横浜市公共施設のあり方検討委員会」で、本市が所有するプール及び野外活動施設等の効率的、効果的な運営及び施設のあり方についてご提案をいただきました。この提案を踏まえ、市民や市会の皆さまからもご意見をいただきながら、24 年 8 月に「プール及び野外活動施設等の見直しに係る基本的な考え方」（以下、「基本的な考え方」と言う。）を策定し、プール及び野外活動施設等を取り巻く環境や現状と課題、見直しの考え方などをまとめました。

この「基本的な考え方」に基づき、プール及び野外活動施設等の見直しを進め、27 年第 2 回市会定例会において、各施設の利用状況等を踏まえた各施設の方針の方向性を御報告しました。

この度、市会でいただいたご意見等を踏まえ、各施設の方針（案）をとりまとめましたので、こども青少年局の所管する施設についてご報告します。

1 対象施設

野外活動施設等	野島青少年研修センター、 青少年野外活動センター(三ツ沢公園、こども自然公園、くろがね、道志(※))
---------	---

(※)道志青少年野外活動センターは、24 年度末をもって廃止となっています。

2 「基本的な考え方」における各施設の見直しの考え方

(1) 総論

ア 安全性の問題がある施設等を除き、利用促進策として、施設の周知（PR）や魅力づくりなどを行います。また、経営改善策として、利用料金の改定の検討やコスト削減などを行います。

イ アを行った上でなお改善が見込めない施設については、施設の集約化、廃止など施設の選択と集中を図ります。なお、個々の施設の存廃については、施設ごとに具体策を決定します。

ウ 施設の選択と集中にあたっては、施設の設置の経緯、利用状況、施設配置、コスト、安全性等を踏まえ、方針を決定します。ただし、施設の状況によっては、民間活用の可能性を検討した上で、方針を決定します。また、利用状況やコスト状況などの情報を積極的に発信します。

エ 施設の選択と集中にあたっては、利用者や地域の方の意見や消防水利等防災上の位置づけを踏まえつつ、利用者に配慮した代替策や跡地利用策などを検討します。

オ 施設の集約化や廃止の時期は、施設の老朽度や利用状況等を踏まえ、決定します。なお、決定にあたっては、利用者に配慮した時期となるよう検討します。

裏面あり

(2) 青少年野外活動センター（三ツ沢公園、こども自然公園、くろがね）

- ア 利用促進を図った上で、平成 26 年度末までに適正な施設規模を検討します。
- イ 平成 26 年度末までに利用改善及び経営改善が図られない場合は施設の集約化を実施します。
- ウ 施設の集約化を実施する場合は、利用者に配慮して、青少年の健全育成の機会がなくならないよう、代替策や跡地利用策を検討の上、集約化を実施します。

3 26 年度の利用状況（27 年第 2 回定例会報告）（資料 1 「施設別年間利用者数の推移」）

青少年野外活動センターは、積極的な施設 PR や利用申請手続きの簡素化、新たなプログラム開発など、利用促進や経営改善等に取り組んだ結果、25 年度と比較し、全ての施設において利用者増となっており、対前年度比で、三ツ沢公園青少年野外活動センターについては 1,708 人、こども自然公園青少年野外活動センターについては 607 人、くろがね青少年野外活動センターについては、1,534 人の増となっています。

また、「基本的な考え方」の施設分類ごとの「見直しの考え方」において対象施設となっていないませんが、野島青少年研修センターの利用者数については、対前年度比で 2,632 人の増となっています。

その他、道志青少年野外活動センター廃止に伴い、代替策として道志村内キャンプ場の利用料を助成する市民優待サービスを実施し、延べで 11,157 人の利用がありました。

4 方針の方向性（27 年第 2 回定例会報告）

青少年野外活動センターについては、利用状況・経営状況を踏まえ、存続する方向で検討します。

また、より一層、それぞれの施設の特徴を生かせるような運営の工夫、施設の改修等を検討します。

5 見直しに係る方針（案）

青少年野外活動センターについては、利用状況・経営状況を踏まえ、存続することとし、今後も青少年の自然体験活動を推進する拠点施設として、3か所の青少年野外活動センターそれぞれの特色を生かせるような運営の工夫、施設の改修等を行います。

資料1

施設別年間利用者数の推移（平成21年度～平成26年度）

（単位：人）

施設名	所在地	ピーク時		実績						H25/H26		備考
		年度	利用者数	H21	H22	H23	H24	H25	H26	増減数	増減率	
				計	計	計	計	計	計			
野島青少年研修センター	金沢区	H19	53,464	48,876	47,499	18,580	41,031	43,508	46,140	2,632	6.0%	被災者受け入れのための営業休止期間あり(H23)
三ツ沢公園青少年野外活動センター	神奈川区	H21	26,852	26,852	22,094	17,047	22,163	22,977	24,685	1,708	7.4%	
こども自然公園青少年野外活動センター	旭区	H26	31,527	30,809	29,265	24,161	30,600	30,920	31,527	607	2.0%	
くろがね青少年野外活動センター	青葉区	H21	21,348	21,348	18,971	16,594	17,669	19,095	20,629	1,534	8.0%	
道志青少年野外活動センター	山梨県道志村	-	-	8,716	8,050	7,221	6,674	H24年度末廃止				
計				136,601	125,879	83,603	118,137	116,500	122,981	6,481	5.6%	

※実績は、宿泊者数と日帰り利用者数の合計です。宿泊者数は述べ人数で計算しています。

※ピーク時の利用者数は、把握できる範囲での数値を採用しています。